

# 数学 北海道大学 総合入試【理系】、学部入試【医(医)・(保健)放射線・検査・理学)・歯・獣医・水産】

## <全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
<b>解答形式</b> 全問記述形式			
<b>分量・難易(前年比較)</b> 分量 (減少)・やや減少・変化なし・やや増加・増加 難易 (易化)・やや易化・変化なし・やや難化・難化 ここ2年の難しかった状態から、以前の難易に戻った感じがする。			
<b>出題の特徴や昨年との変更点</b> 数学Ⅲからの出題の割合が減ったが、本格的な積分計算が出題されたのは久しぶりである。			
<b>その他トピックス</b> 確率の問題 (2) が今年も文系との共通・類似問題として出題された。			

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	三角関数 図形と方程式	数学Ⅱ 数学Ⅱ	三角方程式を解く問題(1)と、三角関数を消去する軌跡の問題(2)。(1)と(2)に特に関連はない。	標準
2	確率	数学A	「正八面体のさいころ」を用いた反復試行の確率の問題。題意をつかむことができればそれほど難しくなく、最後まで解くことも可能だろう。	標準
3	数列 積分法	数学B 数学Ⅱ	定積分で定義された数列の問題。「 $n$ によって変化する」定積分の部分をきちんと「おきかえ」ができるかどうかのカギ。	標準
4	平面ベクトル	数学B	三角形の内心の問題。角の二等分線の性質を利用して求める有名問題なのでぜひ取りたい。	標準
5	微分法・積分法	数学Ⅲ	対数関数を用いて表された曲線の接線と面積の問題。最後の面積計算の部分積分が特にまちがいがやすいので、工夫をしてミスが減らしたい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

昨年までの完答しにくい問題ばかりの出題から、最後まで解けそうな問題が中心の出題になった。このようなレベルの問題が並んだときはミスに注意して、自分の解ける設問を常に正確に解き、得点を積み上げて合格ラインの突破を目指すことが重要である。どのようなレベルの問題が出題されても自分のできることをやり切ることが合格へ最も大切なことであることを忘れずに日々のトレーニングをして準備したい。